

## ■ 第 18 回 日本心臓核医学会若手研究者奨励賞 募集要項

### 1. 応募資格

日本心臓核医学会会員であり、応募時に満 40 歳未満であること。応募者は筆頭演者かつ発表者であり、その研究の着想および遂行に重要な役割を果たしたものであること。

### 2. 対象研究

わが国の施設で行われた心臓核医学に関する臨床および基礎的研究で、未発表であるもの。

### 3. 応募方法

学術大会の演題登録の際に若手研究者奨励賞応募欄にチェックを入れ申請を行う。応募の際には、共同演者も含め、日本心臓核医学会の会員であることが必要である。

### 4. 選考方法

若手研究者奨励賞応募があった演題につき一次審査を行い、数名の最終候補者を選出する。選出された演者は学術大会若手研究者奨励賞セッションにおいて発表を行い、選考委員会が最優秀賞 1 名と優秀賞 2 名を決定する。

### 5. 表彰

平成 30 年度学術大会において、選考結果を公表し、最優秀賞（1 名）と優秀賞（2 名）の表彰と賞の贈呈を行う。今回から 3 名の受賞者のうち上位 2 名（最優秀賞および優秀賞から 1 名）には賞に加えて American Society of Nuclear Cardiology の会員資格（会費 2 年分）も授与される。

### 6. その他

受賞演題については原則的に本会英文誌（ANC）に原著論文もしくは総説論文として投稿する。

## ■ 第 7 回 日本心臓核医学会賞技術部門賞 募集要項

日本心臓核医学会では、2012 年より日本心臓核医学会賞に技術部門を創設しました。本賞は、心臓核医学技術に関する領域で興味深い演題発表を行い、今後もこの分野での活躍が期待できる方を顕彰する事を目的としています。今年度も 7 回目となる「学会賞技術部門」の募集を行い、第 28 回日本心臓核医学会学術大会（2018 年 7 月 6 日、7 日に東京で開催）において「学会賞技術部門賞」を贈呈いたします。

昨年度は技術部門の募集要項と選考方式を変更し、従来よりも応募しやすい形にしました。今年度も同様の方法での選考を予定しています。以下が概要です。

- (1) 学術総会での技術系の一般演題の応募演題のなかから学会賞技術部門の候補演題がノミネートされる。
- (2) 応募時に受賞候補となることを承諾されている演者の中から候補者が選ばれ、選考過程にエントリーされる。この時点で日本心臓核医学会の会員でない方は入会をしていただく。
- (3) 候補者は以下の追加書類の提出が必要となる。①今回の発表演題の内容を日本語でまとめたもの（図表の使用可）、②履歴書、③これまでの核医学の臨床、教育、研究歴を簡潔にまとめたもの（文字数などの詳細は別途大会事務局から通知）。
- (4) 候補者が多い場合には学術大会前に選考委員による予備審査が行われる。候補として選ばれた演者は当日発表を行い、内容と質疑応答を選考委員が評価し、受賞論文を決定する。発表と質疑応答は日本語で行われる。
- (5) 選考による受賞者は本学会の和文誌である“心臓核医学”の 2019 年 1 月号に受賞内容と関連する原著論文もしくは総説を提出することが求められる。心臓核医学への論文は和文による執筆となるが、250 words 以内の英文抄録の添付が必要である。

別途の業績目録や推薦状の提出などの必要はありません。どうぞ奮ってご応募ください。